市会議員 自民党 高橋のりみ 平成29年10月号<vol:44>

# のりみが行く!!

市政報告

## 横浜市会の平成29年度予算特別委員会の総合審査で林市長はじめ各局長と議論！

自民党を代表して、
これからの横浜市の女性活躍、
全校配置された学校司書の課題、
上郷町猿田地区の緑を残す為に等を。

### 中小企業における連携促進と女性活躍支援

**林市長は、日曜日の朝に放映されている TBS の“がっちりマンデー”ってご存知ですか?**
**先日、私の地元金沢区の鉄打ち出しフライパンの山田工業所の山田社長が出演しました。横浜中華街でもほとんどのお店で山田式中華鍋が使われていると言う事ですが、現在社長である山田社長のお父様が昔から鉄の打ち出しは機械では不可能だとおっしゃっていたらしい。**
**ところが、今から30年前に横浜市中小企業指導センターが中心となって異業種交流ができ、兼ねてより「機械によって鉄の打ち出しができないだろうか?」という課題を持っていた山田社長に、地元の金沢区の工業団地の企業が手をあげてくれて今の山田工業所の発展に繋がったそうです。山田社長は今では横浜市に感謝しています。が、最近では、自分の周りにどんな会社が存在しているのか全然わからない。と、おっしゃっており、今の横浜市に求める物はと質問すると、「ネットワークが欲しい!」とおっしゃっています。**
**横浜経済の発展には、市内企業の99%以上を占める中小企業の成長発展を促すことが大変重要なことではありますが、中小企業は、規模、人手、資金などの点から販路の開拓や新しいことへのチャレンジ等がなかなかできないといったことも、課題としてあると思います。中小企業の成長発展のためには、個々の企業の経営努力も必要なのはもちろんですが、地域内の連携に加えて、広く同業種・異業種の企業間の相互のネットワークの強化をさらに進め、連携を取り合いながら課題解決に取り組むことが必要ではないでしょうか。そこで中小企業の連携促進への取組について伺います。**

高橋議員は、素早く現場主義で行動なさって、現地からの情報もお伝えいただきました。その中の御質問ありがとうございます。
各業界団体とも連携しながら、地域での情報交換会や課題解決に向けた検討会、グループによる新製品開発や展示会出展、他企業や大学とのビジネスマッチングを目指したネットワークづくりなどを支援しています。さらに、産学官に金融機関を加えた「LIP. 横浜」や「I・TOP 横浜」を通じて、オープンイノベーションへの参画も促し、企業の連携促進を図ってまいります。

**本市では、「日本一女性が働きやすい働きがいのある都市」のために、他都市に先駆けて、様々な支援の取組を進めてきました。そこで、中小企業における女性の活躍推進に向けて、どのように取り組んでいくのか、伺います。**

経営者向け啓発セミナーや就業規則の改定、更衣室の設置などの環境整備に対する助成に加えまして、28 年度には、企業の実情に応じたアドバイスを行う専門家派遣や、女性活躍に積極的に取り組む企業の情報を発信するWebサイト「キャリア小町」を開設いたしました。引き続き、中小企業に対し、女性活躍を経営戦略として取り組んでいただけるように力強く支援してまいります。

**近年女性の労働参加が増え、また活躍の場が広がっている状況と言えますが、今後は中小企業においてもより女性の活躍が求められる中、多様で柔軟な働き方の推進が必要であり、特にテレワークのような在宅勤務の導入については、国も 2020 年東京オリンピックの開会式にあたる7月24 日を「テレワーク・デイ」と位置づけており、人材活用を進めるうえで重要であると考えます。そこで、中小企業に対するテレワーク導入に向けた普及・啓発について、どのように取り組んでいくのか伺います。**

育児・介護による離職防止などのテレワークを導入する意義や、労務管理の留意点、取組企業の紹介などを行う企業向けセミナーを開催しています。
さらに、専門家によるテレワーク導入に向けた相談とあわせ、システム構築のための助成等にも取り組んでおりまして、今後とも一層の普及啓発に努めてまいります。

### 利便性が実感できるマイナンバーカードの利活用

**私としては、マイナンバーカードの普及にあたっては、国は自治体とも連携しながら、運転免許証など公的な証明書のマイナンバーカードへの集約化も含めて、国民生活に密着した利活用を、強力に推進していくべきと考えています。**
**そして、利便性の実感できるサービスの展開にあたっては、行政だけでなく、民間の活力も柔軟に取り入れ、取り組むことが必要だと思いますが、そこで、マイナンバーカードの民間による利活用を推進していくべきだと考えますが、見解を伺います。**

民間企業は、総務大臣の認定を得ることで、マイナンバーカードの電子証明書など、一部の機能を活用することができます。
これにより、民間企業の提案を生かしたカードの利活用が進む環境が整ったことは、大変有意義でありまして、カードの普及促進に資するものと考えております。

**私の地元でも、マイナンバーカードの目的や取得するメリットが分からないなどのご意見をいただくことも、あります。その普及促進に向けて、本市としても積極的なマイナンバーカードの活用を検討していくべきだと考えます。そこで、本市におけるマイナンバーカードの利活用について、検討状況を伺います。**

子育てに関する行政手続の一部を行うことのできる「子育てワンストップサービス」を、本市においても活用できるように調整を進めています。
また、新たなカードの活用策を検討する「マイキープラットフォーム運用協議会」が、総務省により、8月に設立されました。本市もこの協議会に参加し、カードの利活用策について、検討してまいります。

## 学校司書の配置と学校図書館の充実

7年前に市会議員になって初めての常任委員会が教育委員会でした。そこでの議論の中で、横浜市の小中学校の図書室に司書を配置して欲しいと議論をした事がついこの間の様に思い出されます。
今では市内の499校の全校配置がされております。その学校司書の配置の意義を再認識するため、小学校と中学校の学校図書室を視察して来ましたら、図書室の入口がワクワクする様に飾り付けられており、児童が思わず本を手に取りたくなる様な工夫がされており、各担任との連携も取れ、授業にも図書室の本が多く利用されておりました。私としてはかなり感動して来ました。そこで、あらためて、**学校司書全校配置による成果について、教育長に伺います。**

学校司書の配置により、それぞれの学校で学校図書館の環境整備が進み、利用する児童生徒数が増加し、貸し出し冊数も増えています。また、教員と連携して学校司書が授業に必要な図書資料を準備するなど、授業での活用も報告されています。学校司書の配置により、子どもたちが本に親しみ、学校図書館が学習の場として、子どもたちの居場所として、より活用されるようになったと実感しています。

学校司書の質も各校様々であるかとは思います。その学校司書に対しての研修も充実しているとの声は聞きますが、反面、その研修を受講する為の交通費等が支払われていないとの苦情の声も届いているのは事実であります。
これからの子どもたちの成長にとって、学校図書館のより一層の充実は大変重要です。そのためには、学校図書館を支える学校司書の方々が活動しやすいようにもっとサポートする必要があると思っています。
そこで、**学校図書館の充実策について、教育長に伺います。**

児童・生徒の学習における多様なニーズに応えられるよう、図書館資料を充実するために、学校図書館の蔵書の整備、地域図書館との連携、学校間のネットワークの構築に取り組んでいきたいと考えております。
学校図書館がさらに活用されていくためには、学校司書の皆さんが活動しやすい環境を整え、人材を確保していくことが必要です。
今後も、学校図書館の充実を推進していきます。

## 郊外部・上郷町猿田地区のこれからのまちづくり

郊外部のまちづくりは、鉄道駅を中心としたコンパクトな市街地形成を目指して、大船の再開発や金沢八景の区画整理など拠点整備を中心に進められていますが、駅から離れた住宅地や市街化調整区域のまちづくりも重要だと思います。
そこで、まず**郊外部のまちづくりの取り組みの考え方について伺います。**

鉄道駅周辺の拠点整備や土地利用転換の誘導、住宅地の再生、自然環境の保全、地域交通サポートなど様々な取組を総合的に進めていくことが必要です。
今後とも、市民の皆様や事業者の皆様とともに、地域の状況に応じた、きめ細かいまちづくりを進め、活力ある郊外部の形成を図っていきます。

私の地元である金沢区、隣接する磯子区、栄区には、緑の10大拠点のひとつである「円海山周辺地区」が広がっています。この地区には公園や市民の森、小川アメニティなど様々な水と緑の拠点が含まれていますが、3区にまたがる約116ha のエリアは円海山近郊緑地特別保全地区が指定されており、一部は「瀬上市民の森」として指定されています。この地区の西側、都市計画道路舞岡上郷線との間には約20ha の緑地や農地があり、ホタルが飛び交うシーズンには多くの市民に親しまれている場所となっていますが、特に緑地保全制度などによる指定はされていません。ここは横浜では数少なくなった里山景観が残る良好な緑地であり、また、生物多様性という観点からも大変重要な場所です。現在、この「瀬上市民の森」に連なる緑の保全を含む計画がまとまり、舞岡上郷線の西側とあわせた約 30ha エリアは上郷町猿田地区として都市計画の手続きが進められています。
私は、これまで様々な経緯があったこの場所の土地利用の計画がまとまり、「瀬上市民の森」に連なる 20ha 以上の緑が都市計画により保全されることを大変喜んでいました。しかし、先日、この計画に反対する市民団体が開発の是非を問う住民投票条例の直接請求に向けて署名活動を開始するとの報道がありました。さらに、この動きに異議を唱えるように、上郷町猿田地区の土地所有者の皆さんが、都市計画を予定通り推進するよう市長陳情を提出されたとの報道もありました。
まだ様々な意見をお持ちの市民がいらっしゃるようですが、現在、都市計画の手続きを進めていることから、市としてこの地区のまちづくりの意義を明確にしていく必要があると考えます。そこで、**上郷町猿田地区のまちづくりの意義について伺います。**

市内有数の緑地である円海山周辺地区に連なる里山景観が残る良好な緑地の保全と、生活利便性の向上や環境・防災に配慮した市街地の形成が図られます。
将来を見据えたバランスのとれた計画であり、地区周辺の魅力向上や活性化に大いに寄与すると考えています。

横浜市会議員
高橋徳美事務所
〒236-0031 横浜市金沢区六浦 1-1-13 高松ビル 1F
TEL.045-780-3199 FAX.045-780-3229
E-mail:norimi_takahashi@ybb.ne.jp